

異文化理解研修下見の報告

Report on the Preliminary Inspection of the Intercultural Understanding Training

金 美珍

(こども学科 准教授)

I はじめに

異なる文化や背景を持つ人々との交流は、自身の文化的な前提を超えて、新しい視点を得る機会である。これにより、自己の枠組みを拡大し、柔軟性を養うことができる。異文化理解は、単なる文化の違いを認識するだけではなく、その違いが生み出す異なる価値観や信念を理解し受け入れることも含む¹⁾。

異文化理解においては、認知、情意、行動の3側面が大切であるとされている。認知とは文化に関する知識を身につけること、情意とは異文化に対して関心を寄せたり、感情を持ったたりすること、行動とは異文化間コミュニケーションを行うことを意味している²⁾。

異文化理解とは文化や習慣の違いだけでなく、考え方や価値観が違うことを理解し、受け入れようとする態度のことである³⁾。グローバル化が進む現代社会において、我々には異文化を理解する力が必要である。

本学では異文化理解の授業の一環として異文化交流研修を行っている。幼稚園や保育園などの教育・保育施設の見学の延長線上で重要であるという、藤田元学長の考えのもと、平成23年より海外研修を行ってきた。これまでの訪問先は、カリフォルニア州(平成23年)、フロリダ州(平成24年)、バージニア州(平成25年)、スペイン(平成26年)、インドネシア(平成27年、平成29年～平成31年)であり、各国の大学や幼稚園を訪問し、互いの文化交流を図ってきた。その後、新型コロナウイルス感染症の影響で中止されていた⁴⁾が、今年から再開することになった。

今回の異文化交流研修は、韓国の釜山で行う。その下見のために、5月29日から31日にかけて現地へ行ってきた。

II 釜山

釜山は韓国第二の都市であり、韓国最大の港町として有名で、日本からのアクセスも良く、人気の観光都市である。



【写真1】 広安里海水浴場



【写真2】 チャガルチ市場⁵⁾

研修先である東義大学は、釜山市の中心街からも程近くに位置する私立大学である。10学部からなる総合大学で、約16,000人の学生が学んでいる⁶⁾。

大学正門を過ぎると、建学理念である「東義知天」を漢字で刻んだ教育理念碑が正面に見える。「東義知天」とは人間の鳥居と宇宙の理を追求するという東義大学の教育理念である(写真3)。大学のアイデンティティをはっきりと示す象徴物で、多くの学生や卒業生がここで写真を撮影したりするそう⁷⁾だ。



【写真3】教育理念碑

キャンパスは2ヶ所あり、今回研修を行うのは校舎が広い方のガヤキャンパスである（写真4）。下の中央につけてある①が正門で、⑬と⑳の建物の間にこども園が位置している。⑧の建物は学生会館、後ろの㉑の建物に幼児教育学科がある。各建物に番号が大きく表示されているのが面白い。建物の番号さえ分かれば探しやすくなっている。

子ども園での交流を終えて、食堂に移動し昼食をとった後、後ろの建物の方に移動すると、距離



【写真4】東義大学キャンパスマップ

が短く便利になりそうだ。打ち合わせの内容は、事前に送り、幼児教育学科の教授に検討していただいて、打ち合わせの場で、調整・決定した。

日程に関しては、予定していた3月3日は、韓国の祝日であり、子ども園側は休日の翌日の交流は厳しい、曜日としては木曜日が良い。そのため、3月6日（木）に交流を行いたいという案が出た。参加する学生は、本校の参加する学生数に合わせる。

文化交流の大まかな流れは、午前中は子ども園で子どもたちとのふれあいをし、昼食時に韓国式の学食を体験し、その後大学生と交流する。

子ども園では、8時より登園がはじまり、10時から交流が可能になる。子ども園での交流は保育体験やクラスの授業参観をする。保育体験は5歳児クラスを対象にして、韓国語版と日本語版の同じ絵本の読み聞かせと折り紙を実施することにした。韓国語に日本語を交えて行くと子どもたちは目を星のようにキラキラさせながら、絵本の世界に夢中になる。想像だけで楽しい。



【写真5】東義子ども園①

写真7と8は学生会館内の学生食堂である。校内の学食は何ヶ所かあるが、ここは子ども園から移動しやすいところであり研修会場とも近い。韓国定食のメニューが沢山あり、かつしっかり食べられる。食物アレルギー反応のある学生を事前に連絡しておくこと、対応していただけるそうだ。一週間前にメニューを送ってもらうことも可能である。食事代は4500 ₩で、500円程度である。



【写真6】東義子ども園⁸⁾②



【写真7】学食「スドクジョン」⁷⁾①



【写真8】学食「スドクジョン」⁷⁾①

研修会は13時30分から行う。大学の先生の挨拶からはじまり、学生たちのプレゼンテーション、講演（東義大学の先生から）、グループワーク、文化交流の内容で進める。司会者は韓国の学生が担当するようにお願いした。学生のプレゼンテーションは本学が先に行うことにした。PowerPointは、韓国語と日本語で作成し、発表は母国語で行う。同建物内に日本語学科があり、その学生たちに手伝ってもらおうと作成できるそうだ。プレゼンテーションの内容は季節ごとの伝統文化や教育施設を含め、教育内容を中心に互いに

準備する。講演内容は、韓国の幼児の現状、育児支援のための国の対策、韓国の教育など、韓国について日本の学生たちが知りたいことのリストを基に、その内容を中心に準備していただけるそうだ。グループワークでは、自己紹介、折り紙、手遊びをする。韓国語版と日本語版の同じ絵本を選んで、互いに絵本読み聞かせや最近若者の間で流行っているMBTI性格テストをしてはどうかという意見があった。文化交流では事前にK-POPの曲を選んで一緒にダンスをすることにした。



【写真9】打合せの様子①



【写真10】打合せの様子②

Ⅲ 慶州

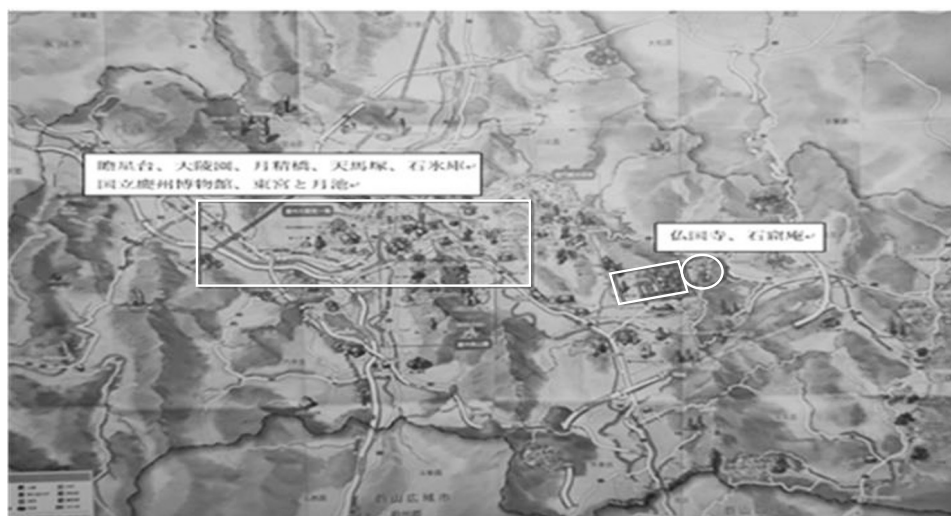
翌日は、慶州の下見に行ってきた。釜山駅からKTX鉄道に乗ると25分で新慶州駅に着く。駅から出たらちょうど仏国寺（ブルクッサ）行きの巡回バスがあって、とりあえずバスに乗った。料金は1,700ウォン。細かいお金を用意しようと思ったが、両替するタイミングを逃してしまった。運転手さんは親切に機械からお釣りを沢山出しながらも、こうすると他のお客さんに渡すお釣りがなくなるよと文句を言うのも忘れなかった。朝から迷惑をかける客になった。

巡回バスは一方通行コースになっている。仏国寺までは約1時間程度かかった。写真11のマークされたところは観光客がよく訪れる場所であ

る。慶州では、最初は仏国寺，石窟庵に行き，次に向かったのが国立慶州博物館であった。それから東宮と月池（トンゲンとウォルチ），瞻星台（チョムソンデ），大陵園（テルンウォン），月精橋（ウォルジョンギョ），天馬塚（チョンマチョン）などの順に回ってきた。

慶州は，紀元前 57 年から紀元 935 年まで，約

1000 年続いた新羅王朝の首都があった都で「千年の古都」と呼ばれている。新羅が676年に百濟，高句麗を滅ぼし三国統一をなし遂げると，その都である慶州は朝鮮半島の政治・文化の中心地として繁栄を極めた。町全体が博物館とよばれるほど，豊かな歴史的遺産で知られている⁹⁾。



【写真 11】慶州マップ



【写真 12】仏宮寺の釈迦塔（ソッカタブ）と多宝塔（タボタブ）

終わりに

来年の 3 月，海外研修に参加する学生たちは異文化理解研修を通して現地の子どもと同年代の学生と直接触れ合い，そこで異文化に対して理解を広げ，異文化間コミュニケーションを行う。きっと多くのことを感じ，学んでくれることでしょう。

参考文献

1) 大学における異文化理解と多様性への対応力の重要性とは

- <https://nikkeidai-style.jp/social-life/intercultural-understanding> (2024/10/12)
- 2) 異文化理解の授業を行うにあたって
https://tb.sanseido-publ.co.jp/english/newcrown/pdf/ten028/TEN28_02.pdf
(2024/10/12)
- 3) 多文化保育
https://www.nfukushi.ac.jp/70th/special_project/p42/ (2024/10/12)
- 4) 藤田利久. 異文化交流研修報告～バリ島の大学との教育交流～. 埼玉純真短期大学論文集. 2019, 第 12 号, 89-94.
- 5) 釜山チャガルチ市場
https://korean.visitkorea.or.kr/detail/ms_detail.do?cotid=3fdaaf29-b55d-4076-a06b-ba963a493174 (2024/10/12)
- 6) 留学・海外研修短期プログラム
<https://www.st.keio.ac.jp/students/ic/program/> (2024/10/12)
- 7) 東義大学
<https://www.deu.ac.kr/www> (2024/10/12)
- 8) 東義大学付属子ども園

<https://www.deu.ac.kr/www/content/202>
(2024/10/12)

9) 慶州

<http://www.koreawheelchairtour.com/249502403012518124931247312467199903002825991212703698629987.html>
(2024/10/12)